

## 国語科・特別活動（学校行事） 「だれもが関わり合えるように」

山北町立三保小学校



### 単元（題材）目標

- 国語の学習で扱った手話についての発展学習として、手話に親しむとともに、障がいのある人もない人もお互いに支え合い、活動できる社会が必要であることに気付く。

### （1）実施時期

平成 31 年 1 月 29 日（火）

### （2）対象（学年等・人数）

第 4 学年 2 名、 幼稚園児 3 名

### （3）指導者（教諭・外部講師等）

本校教諭：第 4 学年担任 1 名

幼稚園教諭：年中担任 2 名



### （4）実施内容

- ① 幼小交流の一環として、集会で歌った「にじ」を手話で表現しながら園児と一緒に歌う場面を設定した。
  - ・事前に 4 年生が歌詞を手話で表現する方法を覚え、それを園児に教えながら一緒に歌い、手話に親しむ活動を行う。
- ② 指文字で名前を伝える。
  - ・指文字の 50 音表で自分と園児の名前の表し方を知り、手話で名前を伝え合う。
    - ◎図書室にある手話に関する本を学級に置き、自然と手話に触れられる環境づくりをしておいた。
    - ◎園児にはサビのわかり易い部分のみ手話を教え、楽しい雰囲気で行えるようにした。指文字は表で一音ずつ確かめながら伝えるようにした。

### （5）成果

- 手話に興味を持ち、簡単な挨拶や自己紹介ができるようになった。
- 今まで触れることのなかった手話に親しむことができた。
- 手話を学ぶことにより、聴覚に障がいのある方々も互いにコミュニケーションを取ることができるということを理解することができた。